古墳時代?の大型掘立柱建物と集落

（仮称）西大寺東遺跡／西隆寺跡　奈良市西大寺東町1丁目

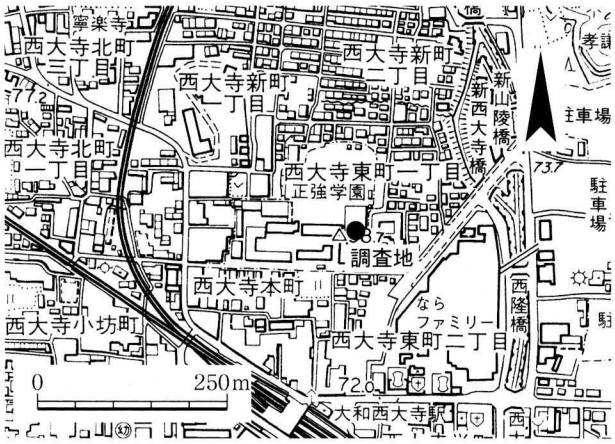
近鉄西大寺駅の北200mほどの場所にある旧正強学園体育館跡地は、奈良～平安時代の尼寺、西隆寺跡の北西部に当たります。近隣の調査で、この地には掘立柱建物などの奈良～平安時代の遺構があることが知られていましたが、平成16年度に西大寺近隣公園の整備事業に伴い、発掘調査を行なったところ、奈良時代や中世の遺構とともに大型の掘立柱建物をはじめとする古墳時代以前の遺構を多数発見しました。

調査の概要　今回見つかった古墳時代以前の遺構には、掘立柱建物1棟、掘立柱列2条、溝12条、土坑2基があります。いずれも時期を確定できる出土遺物がなく、詳細な時期は不明ですが、重複関係から少なくとも5回の変遷があると考えられます。

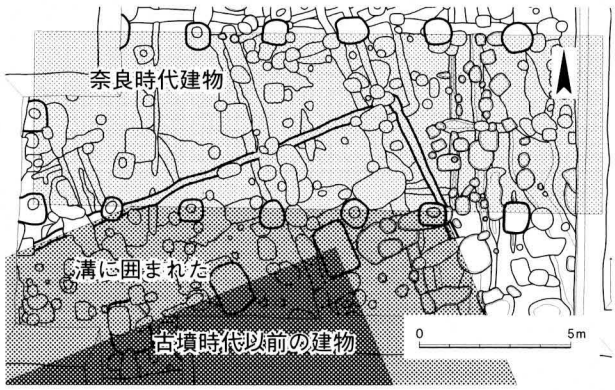
この中で注目すべき遺構は、幅20～30㎝の溝に囲まれた掘立柱建物で、平面の規模は確定できないものの、北に対し約22度西に振れる大型の建物と考えられます。柱穴は、長辺1.3～1.7m、短辺1.0～1.2mの長方形を呈し、深さ1.0～1.1mと非常に大型です。この内、東端と中央の柱穴には、檜製の角柱が良好に残っていました。東端の柱が22㎝×55㎝で高さ70㎝、中央の柱が17㎝×55㎝で高さ85㎝まで残っていました。東端の柱は長辺を東側に、中央の柱は長辺を北側に向けて据えられており、ちょうど建物の壁に沿うように立てられていたと考えられます。奈良文化財研究所で年輪年代を測定していただいたところ、この角柱は西暦250年以降に伐採されたことがわかりました。

奈良時代の遺構には、掘立柱建物1棟、掘立柱塀1条、溝2条、土坑1基等があります。掘立柱建物は梁間2間（3.0m）、桁行7間（18.9m）の東西棟建物で、昨年北隣の調査で確認した大型の掘立柱建物と柱筋を揃えており、同時期のものと考えられます。柱穴からは8世紀の土器と多量の瓦が出土しました。

なお、中世の遺構としては、瓦の出土した土坑が1つ見つかっています。



調査地位置図（1/10,000）



建物の平面図

以上のように、今回の調査では、当初予想されていなかった古墳時代以前の遺構を多数検出し、古墳時代以前の集落の一部を確認できました。なかでも、角柱が、大型建物の壁に沿った方向に据えられていた可能性を見いだせたことは、当時の建物構造を知る上で、貴重な成果といえるでしょう。なお、当地から100mほど南南東の場所で行われた調査でも、ほぼ同じ規模・形状・材質の角柱が見つかっており、それも西暦265年以降に伐採されたとされていることから、今回見つかった掘立柱建物と何らかの関連があると思われます。

また、奈良時代の掘立柱建物と西隆寺との関係は、まだよくわかりませんが、近隣の調査成果から、少なくとも3棟の掘立柱建物が近接して並んでいたと考えられます。

大型掘立柱建物と西大寺東遺跡　今回見つかった角柱の掘立柱建物跡からは、建てられた時期がわかるような遺物が出土しませんでしたが、建物主軸の方向、奈良時代建物との重複関係、柱の年輪年代からみて、奈良時代より前の遺構であることが間違いなさそうです。それでは、いつの時代のものでしょうか。

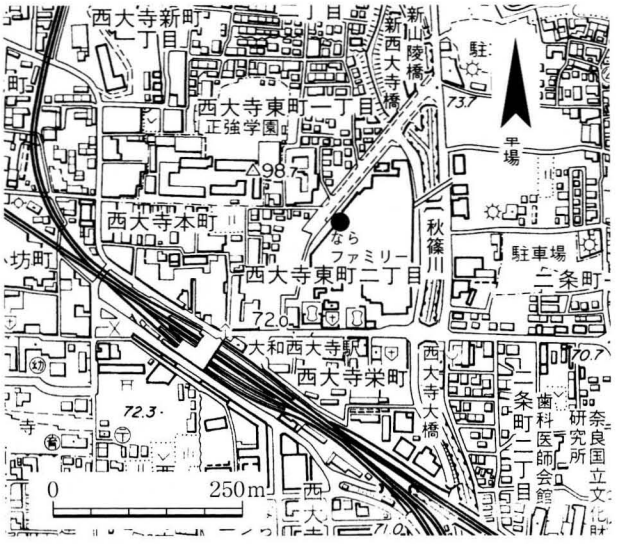
近鉄西大寺駅周辺の遺構・遺物の分布を見てみましょう。左図は、時代ごとに西大寺駅周辺の古墳時代以前の遺構・遺物の分布をみたものです。

縄紋時代の遺構は、秋篠川（あきしのがわ）西岸の地域に晩期（ばんき）の溝が1例みられるのみです。また、弥生時代には、井戸（いど）や竪穴建物（たてあなたてもの）とみられる遺構がありますが、秋篠川東岸に分布しています。

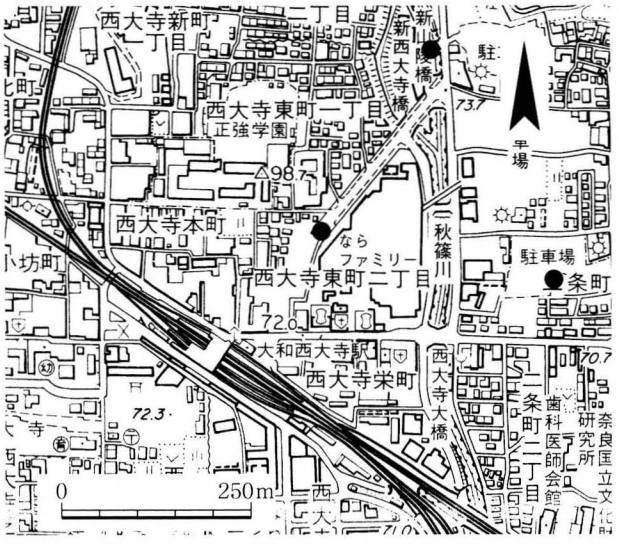
古墳時代になりますと、遺構・遺物の数量が、増えてきます。その分布は、秋篠川東岸の地域にもみられますが、今回の調査地に近い秋篠川西岸の地域に多くみられるようになります。遺構・遺物には、土坑や掘立柱建物、竪穴建物とみられる遺構があり、また、河川が運んだ土砂の堆積（たいせき）からも土器などの遺物がみつかっています。こうした遺構・遺物は、古墳時代の前期・中期・後期の各期にわたってみられます。

このように、近鉄西大寺駅周辺には、縄紋・弥生・古墳時代の遺跡が広がっており、地形からみて、秋篠川西岸の地域をひとまとまりとして考えることができます。これを地名から、仮に西大寺東（さいだいじひがし）遺跡と呼ぶことにします。

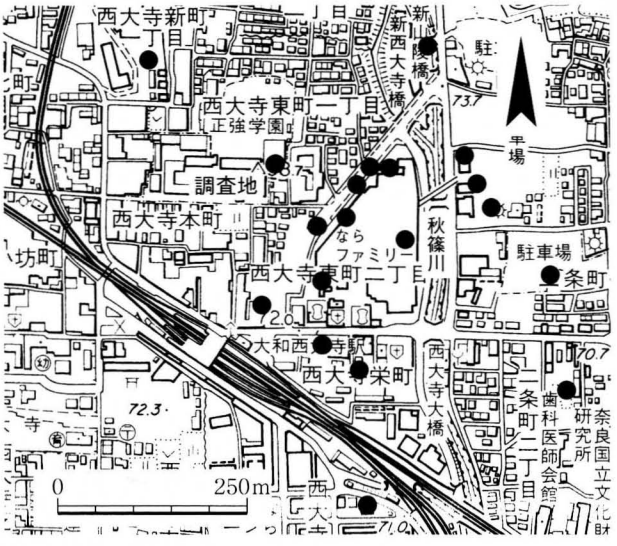
ところで、今回見つかった掘立柱建物は、西大寺東遺跡の遺構・遺物の密度からみて、古墳時代に建てられた可能性が高いものと判断できます。そして、建物や柱の規模・形態からみて、集落の一般的な建物とは、異なるものと思われます。また、こうした建物がいくつか存在することも予想されます。古墳時代の西大寺東遺跡が一般的な集落と異なるのか、それとも、一般的な集落の中に特殊な建物があるのかは、まだわかりません。遺跡の北西には、大型前方後円墳（ぜんぽうこうえんふん）を含む佐紀（さき）古墳群が存在しており、古墳群について考える上でも、重要な遺跡といえるでしょう。建物の正確な年代を知りたいところです。



縄紋時代



弥生時代



古墳時代

近鉄西大寺駅周辺の遺構・遺物分布（縄紋～古墳時代）

発行　奈良市教育委員会　平成17年7月